

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、平素よりJR東日本グループの経営に一方ならぬご支援をいただき、心より御礼申し上げます。

本年9月および10月に相次いだ台風により亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。当社設備にも被害が生じ、鉄道の運転休止等が発生しました。皆さまにご心配とご不便をおかけしていることをお詫び申し上げます。グループの総力を挙げて一日も早く復旧させるとともに、災害対策の一層の充実を図っていきます。

私たちは、グループ経営ビジョン「変革 2027」のもと、安全を経営のトッププライオリティに位置づけ、「究極の安全」を追求するとともに、サービス品質のさらなる向上やESG経営の推進に取り組み、お客さまや地域の皆さまからの「信頼」をさらに高めていきます。そのうえで、技術と情報を中心に、社会インフラを支える重層的で“リアル”なネットワークの力を高め、全ての人の「心豊かな生活」を実現していきます。

例えば、次世代新幹線の実現に向けた「ALFA-X」の走行試験、本年11月に開始する相模鉄道との直通運転、2020年春に開業予定の高輪ゲートウェイ駅を中心とした品川開発プロジェクトなどの「くらしづくり」、他の交通モード等と連携した「MaaS」、10月から鉄道利用でのポイント付与を開始した「JRE POINT」によるワンストップでのサービスの提供など、「変革 2027」の実現に向けた施策を推進しています。

また、開催まで1年を切った東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた準備を着実にを行い、世界中からお越しになるお客さまに安心・快適な輸送サービスを提供してまいります。

引き続き、さらなる人口減少や自動運転の実用化などの急激な経営環境の変化をチャンスと捉えて挑戦を続け、お客さまや地域の皆さまのご期待に応えるとともに、地域社会の発展に貢献する企業グループとして持続的な成長を実現し、株主の皆さまのご負託に応えてまいります。

株主還元につきましては、中長期的に総還元性向40%、配当性向30%をめざしており、当期の中間配当は、前期末に実施しました普通配当75円に7.5円を加え、一株につき82.5円といたしました。

株主の皆さまにおかれましては、当社グループの経営につきまして、何とぞ一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年(令和元年)11月

代表取締役社長 深澤祐二

